

# 道の駅あわくらんどに建つ公衆トイレ ～公衆トイレとは思えない心地よさ～

## ・周辺環境、地域特性への配慮

冬季の降雪期間が長いという気候を生かし、雪解け水をトイレを流す際の水としてタンク(男子トイレの円形柱の中に)に貯めて置き、その水を利用することで、利用可能なエネルギーを無駄なく利用することができる。

## ・子供連れ、高齢者などへの配慮

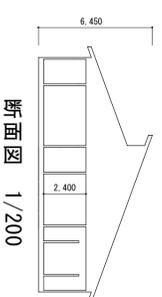
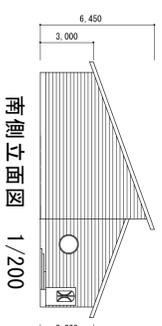
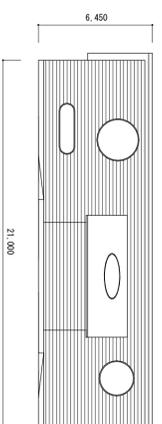
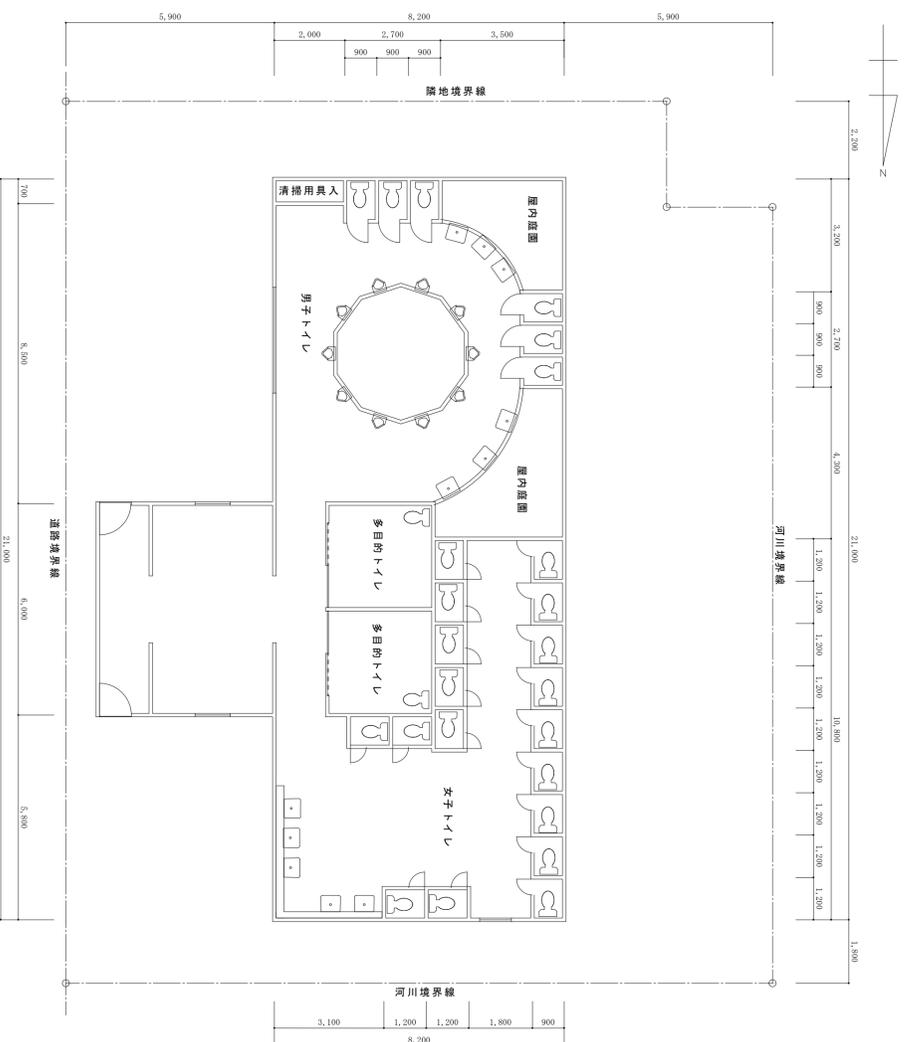
子供や高齢者への配慮として、スロープを設けるのはもちろん、階段の段差を低くし、踏み面を広くすることで、様々な方がトイレを利用しやすくした。トイレの前に待合室を設けることで、そのトイレを利用する人同士での会話などが生まれ、年齢や世代を問わず、いろいろな方と親睦を深めることができ、地域の方々のみならず、初めて訪れた方にとっても、公衆トイレとは思えない心地よさを感じることができる。

## ・内装

トイレへ入るとすぐに、広めの多目的トイレがある。広めの空間にすることで、車いすの方とその介護の方が同じ空間に入っても十分な広さがある。男・女トイレの中間にあるので、男子トイレの小便器が設置してある円形の柱は、PSとしての利用だけでなく、雨水や雪解け水などを貯めておくタンクを設置しておくスペースとして利用する。

## ・CLT利用箇所

外壁  
内壁  
各トイレの間仕切壁



断面パース 1



断面パース 2



平面パース



外観2



外観1